【中間公表】推薦を受けた者及び募集に応募した者に関する情報

海区	区分	推薦を受けた者及び募集に応募した者							推薦者									推薦又は応募の理由
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営の状況	氏名又は名称	代表者の氏名	役職	職業	年齢	性別	設立目的	構成員の数	構成員の資格	
佐賀県 有明海区	漁業者委員																	
	学識経験委員	竹下泰彦	団体職員	70	男	S54.03　徳島大学工学部土木工学科卒業 S54.04～H19.03　川副町役場　水産・土地改良・建設部門を担当 H19.04～H19.09　川副町役場水産課長 H19.10～H22.03　佐賀市水産振興課長 H22.04～H23.03　佐賀市環境下水道部副部長兼環境課長 H23.04～H24.03　佐賀市環境下水道部長 H24.04～H26.03　佐賀市環境部長 H26.04～現在　佐賀県司法書士会事務局長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2003年～2004年「城原川流域委員会」公募委員として河川環境改善について検討した。 2005年～現在、ＮＰＯ法人有明海ぐるりんネット会員・副代表として10年間にわたる冊子「有明海」の編集・出版や、「有明海検定試験」の作成、「全国干潟サミット」「東与賀干潟シンポジウム」など有明海の環境保全に係るイベント開催に関わる。 2012年～2013年佐賀市環境部長時代に、東与賀干潟のラムサール条約湿地登録を提起し、佐賀県や佐賀県有明海漁協に登録推進を働きかける。 2011年～現在、ＮＰＯ法人嘉瀬川交流軸会員・理事として、嘉瀬川ダムの感謝祭、嘉瀬川河川敷の竹を利用した有明海の牡蠣礁復活事業、水生昆虫の観察教室などに関わる。 有明海や佐賀平野の水環境等について、低平地研究会や技術フォーラムなど各種団体から依頼された講演を実施した。 2016年から現在、有明海区漁業調整委員会委員として漁業資源の調整に関わる。 2019年8月に佐賀県が主催した「森川海人っフェス」にパネリストとして登壇。2020年8月佐賀県環境サポーターに就任。 有明海は、閉鎖性海域の極めて浅い海に多くの河川が流れ込み、その栄養分が大きな干満によって適度に攪拌されるといういくつかの偶然が重なり、微妙なバランスでその生態系の豊かさを維持している。 ついては、有明海の環境保全を視野に入れて漁業調整の業務に関わりたい。
		川村嘉応	佐賀大学農学部招聘教授	69	男	S55.03　長崎大学水産学部　修士課程修了 S55.04～　佐賀県庁入庁　有明水産試験場研究調査課配属 S55.04～H12.03　有明水産試験場（技師、特別研究員） H6.04　愛媛大学　農学博士取得 H12.04～H18.03　有明水産振興センター（係長、副所長） H18.04～H21.03　県民環境部　有明海再生・自然環境課（副課長） H22.04～H27.03　有明水産振興センター所長、定年退職 H27.04～H30.03　有明水産振興センター 技術アドバイザー H30.04～R04.03　佐賀大学農学部　特任教授 R04～現在　佐賀大学農学部　招聘教授	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	私は、佐賀県庁で通算38年に亘り有明海のノリ養殖の技術の向上や、優良品種の開発、病害防除に関する研究および漁業者への普及指導等に携わりました。同時に、研究で得られた様々な知見により、ノリ養殖の生産量の増大、品質の向上等による生産の安定向上に向けて取り組みました。 また、有明海再生・自然環境課では、漁業団体や、市町等と連携し、有明海の再生に向けた各種取り組みや、関係省庁等への提案活動を行いました。 有明水産振興センター退職後は、佐賀大学農学部の特任教授として招かれ、ノリに関する研究、特に遺伝子解析、光合成色素・糸状体の光反応の解明に関わってきました。一方、水産増養殖学、水産資源概論等の授業を行い、水産に関する知識は有していると自負しています。現在も招聘教授として研究を続けており、国・県のノリ生産に関する委員会等の委員も努めています。 これまで得られた知識や知見等を活かし、有明海の水産業の発展に向けて貢献したいと思い応募しました。
	中立委員																	
松浦海区	漁業者委員																	
	学識経験委員	伊藤史郎	（公社）玄海栽培漁業協会専務理事	68	男	S56.03　長崎大学水産学部　修士課程中退 S56.04～H8.03　佐賀県庁入庁　栽培漁業センター、佐賀県水産試験場（技師、特別研究員） H7.03　長崎大学　水産学博士取得 H08.04～H17.03　有明水産振興センター（特別研究員、係長） H15.03～H18.12　環境省　有明海・八代海総合評価委員会委員 H17.04～H23.03　水産課、海区漁業調整委員会（副課長、技術監、海区事務局長） H23.04～H25.03　玄海水産振興センター（所長） H23.04～H25.03　生産振興部水産課（課長） H27.04～H29.03　有明水産振興センター（所長）、定年退職 H29.06～現在　公益社団法人　佐賀県玄海栽培漁業協会専務理事	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	玄海及び有明海の現地機関においては、水産資源の生態解明や、栽培漁業等の技術開発、普及指導等に携わりました。 また、本庁水産課では、現地研究機関で得られた様々な知識や経験を活かし、栽培漁業や、漁場造成事業等、漁家経営安定のための各種水産振興事業の創設にも携わり、漁業生産の向上に向け取り組むとともに、現場海域での様々な漁業調整案件に携わってきました。 有明水産振興センター退職後は、栽培漁業協会の専務理事として、玄海地区の資源管理を含めた栽培漁業の推進に携わっております。 今回、これらの現場での知識や経験と、本庁での漁業調整の業務経験を踏まえ、玄海地区の漁業振興に貢献したいと考え、漁業調整委員の募集に応募しました。
	中立委員																	